

第8回 LaMer 特別講演会

10/20

日時・場所

(木)

11:00 – 12:00

愛媛大学理学部総合研究棟
6階 理学部会議室

ネオニコチノイド系農薬のヒト暴露実態の解明

～尿中代謝産物の網羅的分析と毒性影響評価の試み～

Toxicity evaluation of Neonicotinoids in human

~Comprehensive analysis of urinary neonicotinoids and its metabolites~

演者: 池中 良徳 博士

北海道大学大学院獣医学研究科
毒性学教室 准教授



ネオニコチノイドは哺乳動物に対する蓄積性はなく、毒性は無視できると言われてきたが、使用量急増による亜急性・慢性曝露の実態、又は健康影響に関する調査は不足している。ヒトへの曝露実態の解明には非侵襲的に採取できるサンプルである尿がしばしば使用されるが、ネオニコチノイドは極めて代謝されやすいため、親化合物のみでなく代謝産物も対象としたスクリーニングが必要である。本講演では、ヒト尿を対象とした主要ネオニコチノイド7種(ジノテフラン、ニテンピラム、チアメトキサム、クロチアニジン、イミダクロプリド、アセタミプリド、チアクロプリド)とその代謝産物の定性・定量分析法および毒性影響評価について公演する。

問合せ先

愛媛大学沿岸環境科学研究センター

化学汚染毒性解析部門 野見山 桂
089-927-8196 keinomi@agr.ehime-u.ac.jp

主催

愛媛大学共同利用共同研究拠点

Leading Academia in Marine and
Environment Pollution Research (LaMer)

〒790-8577 松山市文京町2-5
愛媛大学沿岸環境科学研究センター